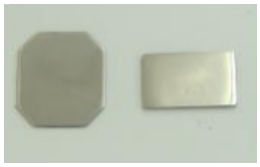
2023 年 5 月改訂（新様式第 5 版）
*2022 年 11 月改訂（新様式第 4 版）

医療機器認証番号：第 220AFBZX00161000 号

類別名称：歯科材料０１　歯科用金属
管理医療機器　一般的名称：歯科メタルセラミック修復用貴金属材料　ＪＭＤＮコード：70770000

販売名：東洋ハイボンドＳ

【禁忌・禁止】
1)本合金又は類似成分の合金に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者に使用しないこと。
2)本合金又は類似成分の合金に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。



該当規格：
JIS T 6118「歯科メタルセラミック修復用貴金属材料」ﾀｲﾌﾟ 3
*成分・分量：

成分	分量
金	52.0%
プラチナ	0.98%
パラジウム	27.7%
銀	16.7%
ルテニウム	0.1%
イリジウム	0.02%
その他	Sn In Cu

物理的性質

耐力	360MPa
伸び	17%
密度	13.7g／cm^3
液相点	1220℃
固相点	1140℃
熱膨張係数	14.7×10^{-6}／K^{-1}
ヤング率	130Gpa

【使用目的又は効果】
金又は白金族元素を 35%以上、又は金、白金族元素の合計が 35%以上を含有する鋳造用合金。歯科メタルセラミック修復物、補綴物、装置の修復に用いる。
(1) 使用目的、用途
歯科陶材焼付用に用いる。

【使用方法等】
(1) 鋳造
①スプルー線は 2.5㎜～3.0㎜（トーヨースプルーワックス R25,30）を使用します。切端部にはベントを付けて下さい。
②埋没材は燐酸塩系埋没材（トヨベスト等）を使用します
③リング焼却温度は 850℃で 30 分間係留の後、鋳造を行います。
④金属の熔解には酸素又は高周波鋳造機を用いて短時間に熔解し、メタルの表面が輝き回転を始めたら、速やかに鋳造を完了させます。
⑤鋳造後はリングをそのまま放冷して下さい。
⑥オーバーヒートはガス吸収による鋳造巣の原因となるのでご注意下さい。
(2) 鑞着
①前鑞着には液相点が 1050～1100℃の前鑞材を通法に従って使用します。
②後鑞着には金合金鑞（１６Ｋ鑞等）を通法に従って使用します。
(3) 洗浄
鋳造体は修正を行った後、蒸留水又はクリーナーにて 5～10 分間洗浄します。フッ酸での洗浄は接着性を低下させるので避けて下さい。
(4) 熱処理（ガス抜き）
①使用する陶材よりも 20℃程高温まで鋳造体をファーネスで加熱し、15 分間係留し、ガス抜きし、室温になるまで放冷します。
②鋳造体の表面には酸化膜ができます。
③これで陶材焼付用メタルフレームの前処理はすべて完了します。
(5) 陶材築盛・焼成
歯科メタルセラミック修復用陶材を使用して、通法に従い築盛・焼成します。

[使用方法に関連する使用上の注意]
(1) 本合金などのパラジウムを含む合金は熔解中、空気中の水素を吸収するので短時間強熱で熔解を行って下さい。
(2) 大気中焼成等で多発するメタルの黄色又は紫色の着色の予防として、マージン部はオペークを通法よりやや厚めに塗って下さい。ボンディングエージェントやカラーパウダーの使用も効果があります。又、黒鉛台を焼成皿の下に敷くのも一法です。
(3) 本合金を再溶解する場合には、弊社ボンドクリーナーで陶材を除去し、サンドブラスター等で埋没材、酸化膜を完全に取り除き、新しい合金を等量以上加えて溶解すること。
(4) カーボンルツボ、割り箸等の木片を使用しないで下さい。
(5) 歯科用フラックスを使用する場合には、その説明書に表示してある使用上の注意事項を守ること。

【使用上の注意】
(1) 使用注意
①本合金の使用により発疹、皮膚炎などの過敏症状があらわれた患者及び術者は、使用を中止し、医師の診断を受けさせること。（本合金にはニッケル、カドミウム、ベリリウムを含みません。）
②本合金の鋳造設備付近には、局所排気装置、換気扇などを設けて密閉した部屋での作業を避け、鋳造により発生する粉塵及び蒸気を吸入しないこと。
③本合金の研磨作業などの際には、粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用し、粉塵を吸入しないこと。
④鋳造作業中は防護めがね、防護服、防護手袋等の防護具を着用すること
⑤他の合金と混溶しないこと。

(2) 重要な基本的注意
・禁忌・禁止の記載に関連する必要な記載を行うこと。
(3) 不具合・有害事象
その他の有害事象
・掌蹠膿疱、扁平苔癬、皮膚炎などの歯科金属疹（遅発性金属アレルギー疾患）を発症することがあります。

【保管方法及び有効期間等】
[貯蔵・保管方法]
・本材は適切に保管・管理すること。

包装
質量：10ｇ

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元　：　株式会社 東洋化学研究所
製造元　：　同
住所　：　〒173-0004 東京都板橋区板橋４－２５－１２
電話番号　：　03－3962-8811
ファックス　：　03－3961-1859

文書番号 DPD-G025